

人権と平和展

福島市平和事業
キャッチフレーズ

僕らの子供に 戦争ってなあに？ って聞かれない

福島市に投下された 模擬原爆の破片展示 (瑞龍寺蔵)



80年前、原爆投下の訓練のため福島市に
模擬原子爆弾が落とされ

1人の尊い命が犠牲となりました。

※人権と平和展では爆弾の破片に実際に触れることができます。

戦後80年記念 特別企画

『記憶の継承』ヒロシマ、ナガサキ“あの日”から80年

- 原爆投下前後の広島市街地の
様子を疑似体験できるVRゴーグル



- 被爆体験証言者と広島市の高校生の
共同制作「原爆の絵」の展示



「新天地の惨状」 作:神垣優香
所蔵:広島平和記念資料館

令和7年度 男女共同参画メッセージ 中学生平和メッセージ 作品展

令和6年度最優秀作品



小学生の部



イラスト部門

私が私らしく
輝いていられるように
私がやりたい事をやり
私がなりたい自分になる
自分らしさを残さず
私はやりたい事に内気で進む

高校生・一般の部(メッセージ部門)

私は 戦争をしなく
ても生きていける

メッセージ部門

27
(日)
14:30
▼
15:30

平和講演会【要申込】

- 1 部 国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館 家族証言者 三根 礼華さん
「長崎市で被爆した祖母の被爆体験や思い」
- 2 部 渡利地区歴史研究会 齋藤 英さん
「渡利に模擬原爆投下・水田に大穴」

講演会の
申し込みは
こちら



展示内容の
詳細は
市HPへ



令和7年

7/25(金) ▶ 29(火) 9:30~19:00 入場無料

会場



アオウゼ(MAXふくしま4階)

駐車場に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
開催内容の詳細は裏面をご覧ください。



主催/福島市 共催/福島市教育委員会、福島・相馬地域人権啓発活動ネットワーク協議会

後援/広島市、長崎市、NHK福島放送局、福島民報社、福島民友新聞社、朝日新聞福島総局、毎日新聞福島支局、読売新聞東京本社福島支局、日本経済新聞福島支局、産経新聞福島支局、河北新報社、時事通信社福島支局、共同通信社福島支局、ラジオ福島、福島テレビ、福島中央テレビ、福島放送、テレビユー福島、福島コミュニティ放送FMボコ、ふくしまFM

問い合わせ

福島市役所 総務課

TEL 024-525-3701

男女共同参画センター

TEL 024-525-3784

令和7年度 福島市郷土史料室 8～10月 展示・講座のご案内



福島市郷土史料室出張展示

わいはん

「写真展 隈畔の思い出」

県庁裏阿武隈川左岸は大正時代から「隈畔(わいはん)」と呼ばれ、市民から親しまれ、賑わっていました。今年は昭和100年ということから、昭和時代を中心に隈畔周辺の懐かしい風景や橋などの写真を展示いたします。



昭和30年代「釣り」

期間 令和7年

9月2日(火)～9月11日(木)

時間 10:00～19:00

会場 福島市 街なか交流館

メディアシティ エスタビル地下1階

観覧
無料



9月20日(土) 13:30～15:00

特別講座(福島市文化財指定記念)

「土湯伝統こけし」

土湯伝統こけしの歴史や特徴、製作の様子について学びます。

講師：相原 聡子 氏

(原郷のこけし群西田記念館 学芸員)

会場：福島市市民センター314 講義室

定員：100名(先着順)

参加費：無料

申込方法：8月20日(水)から電話にて受付。

氏名・電話番号をお伝え下さい。

申込先：郷土史料室 024-563-7858



◎土湯伝統こけしの特徴◎
胴は細長く頭は比較的小さい。

お問い合わせ先

福島市郷土史料室

〒960-8228 福島市松山町 39 番地の 1

電話：024-563-7858

問合せ時間：8時30分～17時15分

休館日：土・日曜日、祝日

☆★☆☆ 講座のご案内 ☆★☆☆



8月2日(土) 13:30~15:30

工作講座「作って遊ぼう『からくり』」

平安時代に始まり江戸時代末期に開花した「からくり」の仕組みを学びながら、簡単な動く玩具を作ります。

講師：郷土史料室職員、ふれあいボランティア

会場：福島市市民センター312 講義室

持ち物：動きやすい服装



【定員 20名(先着順) 小学生以上 ※小学4年生以下は保護者同伴 参加費 無料】

申し込み方法 7月2日(水)から電話にて受付。その際、氏名・電話番号をお伝え下さい。

申し込み先 郷土史料室 024-563-7858



9月6日(土) 13:30~15:30

歴史人材養成講座 公開講座

「地図からみる福島市街地の移り変わり」

地形図を手掛かりに、福島の街の移り変わりを学びます。

講師：初澤 敏生 氏(福島大学 人間発達文化学類 教授)

会場：福島市市民センター314 講義室

【定員 80名(先着順) 参加費 無料】

申し込み方法 8月6日(水)から電話にて受付。その際、氏名・電話番号をお伝え下さい。

申し込み先 郷土史料室 024-563-7858



10月18日(土)・10月25日(土) 9:30~12:00

フィールドワーク「城下町を歩こう」

福島城があった県庁を起点に福島の歴史を学びます。

講師：ふれあいボランティア

集合場所：県庁正面入口自転車置場前

持ち物：飲み物、帽子など

10月18日(土)
は小学5・6年生
と中学生が対象
です！

【定員 各日 20名(先着順) 参加費 無料】

申し込み方法 9月18日(木)から電話にて受付。その際、参加日・氏名・電話番号をお伝え下さい。

申し込み先 郷土史料室 024-563-7858

☆★☆☆ 福島市役所庁舎展示のご案内 ☆★☆☆

福島市郷土史料室展示 写真展 ^{ねっこまちにんぎょう} 根子町人形

無料

期間：令和7年8月1日(金)~令和8年5月31日(日)

[通年展示 月替わりで10回]

時間：午前8時30分~午後5時15分

場所：福島市役所9階

内容：奥州街道の宿場町であった清水町(通称：根子町 ねっこまち)

で作られていた土人形「根子町人形」の写真などを展示します。



福助
時代不明 吉野屋作



官女の舞
時代不明 仙台屋作



福島市スポーツ協会主催事業

受講生募集

小中学生 競泳トレーニングセンター

次の目標に向けて、競泳トレセンに参加してみませんか！

○フォームをきれいにしたい ○記録を伸ばしたい ○ターンが上手になりたい
○泳ぎのアドバイスがほしい ○4泳法に挑戦したい・・・
○もっと泳ぎがうまくなりたい・・・ ～水球体験もあるよ～

◆ 日 時

令和7年9月7日(日)～12月14日(日) 毎週日曜日 計15回
練習時間 午前8時～10時

◆ 場 所

あづま総合運動公園室内プール他

◆ 対象者

福島市内小学生 5・6年生 [20名程度]
福島市内中学生 [20名程度]

☆ 小学生…クロールまたは平泳ぎで50mを泳げること
中学生…クロールと平泳ぎで50mを泳げること。

◆ 講 師

県北水泳連盟 水泳指導員

◆ 参加料

3,000円(スポーツ安全保険料含む)

◆ 申込期限

8月24日(日)

※先着順(定員になり次第締め切ります。)

◆ 申込先

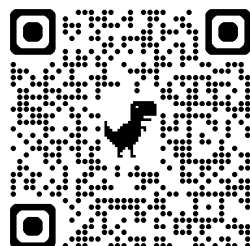
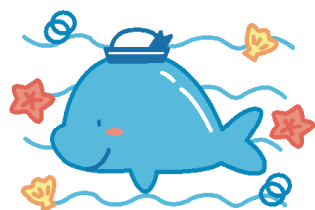
福島市水泳連盟HPより申し込む。(<https://www.f-suiaren.com>)
申し込み開始 7月1日(火)～

◆ 持ち物

水泳セット一式
(水着・スイミングキャップ・タオル・ゴーグル)

◆ その他

申し込みは、お早めをお願いします。



第4回 福島 わらじ

わらじ マラソン

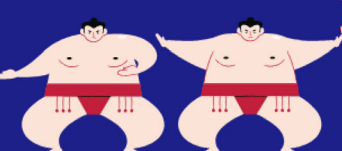
参加
募集

2025
8月2日(土)



ゲスト力士
荒汐部屋
若隆元 わかたかもと
丹治 たんじ

場所：福島駅前通り 受付開始：16時 競技：17時



力士 VS キッズ
エキシビジョン
こちら→



小学生の部	10名×4チーム/優勝:現金1万円・準優勝:現金5千円
中学生の部	10名×4チーム/優勝:現金1万5千円・準優勝:現金1万円
高校生の部	10名×4チーム/優勝:現金2万円・準優勝:現金1万円
大人の部	10名×8チーム/優勝:現金3万円・準優勝:現金1万円

競技参加
こちら

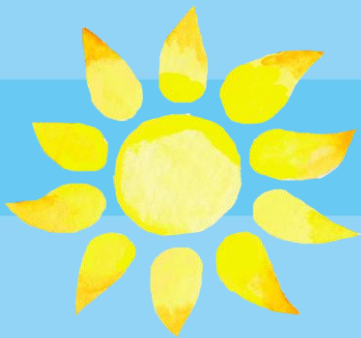


【主催】公益社団法人福島青年会議所

【協力】福島市、福島わらじまつり実行委員会

【協賛】福島わらじまつり実行委員会





科学ってオモシロイ！
みんなで楽しく
体験しよう！

入場
無料

福島大学わくわくJr.カレッジ

サイエンス

Science-yataimura

屋台村

とき:2025 8.11 月

9:30-15:30

ところ:福島市子どもの夢を育む施設 こむこむ

実験したものを
もちかえることができるよ！
エコバックなどをもってきてね

宇宙の
進化と重力

Pepperくんを
動かしてみよう

知覚と
あそび

ものづくりの
世界

電流と磁界を
使って
うごくもの

カラフル
スライム

ゼンマイ
ロボット
プログラミング

液体ちっ素
釣り堀

脳の世界を
のぞいて
みよう

ロボット
工作教室

福島大学わくわくJr.カレッジ
サイエンス
science-yataimura
屋台村
in福島大学

事前申込必要

詳細は裏面に記載

※都合により屋台の内容が変更になる場合があります。

主催: 国立大学法人福島大学地域未来デザインセンター
協力: 福島市子どもの夢を育む施設 こむこむ
後援: 福島市教育委員会

お問い合わせ 福島大学 社会共創課

〒960-1296 福島市金谷川1番地 TEL024-548-5211

国立大学法人
福島大学
Fukushima University

福島大学わくわくJr.カレッジ

サイエンス屋台村

Science+yataimura

in福島大学

★ ロボット工作教室

事前申込必要

マジックで描いた黒い線に沿って走り、リモコンでも自在にロボットを操れます。正確な動きが自慢です！
今度のロボットは「フォークリフト」だ！！
ロボット工作の基礎を学びながら、その面白さを体験しよう！

【対象】中学生以上（親子参加であれば小学5、6年生も可）

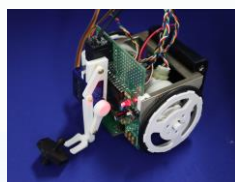
【定員】16名

【場所】福島大学 共生システム理工学類実験棟
3階 基礎物理学実験室
当日は福島大学に直接お越しください。

【日時】8月11日(月)9:30～15:30

※昼食をご用意ください。

【参加費】2000円



たかはし たかゆき
高橋 隆行先生

応募方法

以下「参加申込書」に必要事項を記入の上、下記応募先に郵送、メール、FAXにてお申し込みください。

応募〆切

令和7年7月28日(月)必着

応募先 お問い合わせ

福島大学 社会共創課
〒960-1296 福島市金谷川1番地
TEL:024-548-5211 FAX:024-548-5244
MAIL:chi-kikaku@adb.fukushima-u.ac.jp

主催：国立大学法人福島大学地域未来デザインセンター 後援：福島市教育委員会

お申込み数が募集人数を超えた場合は、抽選で参加者を決定させていただきます。参加決定通知は、応募締切より一週間以内に福島大学から発送されます。
なお、今回お知らせいただく氏名等の個人情報は、本企画の実施以外に使用することはありません。

サイエンス屋台村

事前募集企画 参加申込書

令和7年 月 日申込

イベント名	ロボット工作教室						
(フリガナ)				(フリガナ)			
参加者氏名				保護者氏名			
参加者のご連絡先 (自宅住所)	〒 (TEL - -)(MAIL)						
学校名			学年	年	年齢	歳	性別 男・女
その他・連絡事項							

※参加される方は傷害保険に加入させていただきますので、「フリガナ」及び「年齢」を必ずご記入ください。

開催内容のご案内

人権コーナー

●令和7年度男女共同参画についての 「あなたからのメッセージ」作品展

小学生以上の方からご応募いただいた全ての作品を展示します。

●人権に関する紹介コーナー

- ・人権擁護委員の活動紹介
- ・人権作文コンテスト作品紹介
- ・人権パネル展

●ふくしま市女性団体連絡協議会 紹介コーナー

●万華鏡づくり

●ボッチャ体験コーナー

●人権かみしばい 7月26日(土)～27日(日) 10:00～15:00

平和コーナー

●令和7年度はがきに綴る 「中学生平和へのメッセージ」作品展

中学生を対象に募集した平和に関するメッセージの全ての作品を展示します。

●核兵器と戦争に関する16の問い展

16の問いかけを通して、臨場感をもって核兵器のことを一緒に考えてもらえる内容のパネルを展示します。

●原爆の熱線で溶けた瓦と 広島型原爆(リトルボーイ)の実物大ポスター

●平和首長会議原爆ポスター展

福島市が加盟している平和首長会議が作成した、広島・長崎の原爆被害の実相等に関してわかりやすく説明したポスターを展示します。

●青い目の人形展 ～日本とアメリカをむすんだやさしい大使たち～

戦後の今も平和の大切さを訴えかけている日米友好の証の「青い目の人形」を展示します。

●広島・長崎に届けよう! 折り鶴コーナー

●北方領土パネル展

人権や平和に関するクロスワードに挑戦して、景品をゲットしよう!

人権相談

7/26(土)・27(日)
10:00～15:00 別室を
ご案内します

※秘密は守られますので、お気軽にご相談ください。

人権擁護委員が相談に応じます。
DVや男女差別、家族間の問題など相談内容は問いません。

8月6日・9日は広島・長崎に原爆が投下された日です

1分間の黙とうを

昭和20年(1945年)8月6日に広島市、3日後の8月9日には長崎市に原子爆弾が投下され、多くの人々が犠牲となりました。原爆で亡くなられた方のご冥福と世界恒久平和の実現を祈り、原爆が投下された時間に1分間の黙とうをお願いいたします。

- ◎広島市に原爆が投下された時間……8月6日 午前8時15分
- ◎長崎市に原爆が投下された時間……8月9日 午前11時2分

福島市は 平和に関する宣言をしています

平和宣言 昭和48年3月22日議決

われわれは、世界の恒久平和を実現するため、世界連邦建設の趣旨に賛同し、全世界の人々と相携えて人類永遠の平和確立に努力することを宣言する。

核兵器廃絶平和都市宣言 昭和60年12月26日議決 昭和61年2月1日宣言

世界の恒久平和と安全は、人類共通の願望である。

しかるに、世界における「核」は、今や平和利用の域をはるかに越えて、核軍備拡大競争はとどまることなく、世界平和に深刻な脅威をもたらしている。

我が国は、世界唯一の核兵器による被爆国として、人類生存の危機をも招く核兵器の脅威と今なお続く被爆者の苦しみを全世界に訴え、この人類社会においてかかる惨禍を再び繰り返させてはならない。

よって、私たちは、日本国憲法の平和主義の精神に基づき、「非核三原則」を堅持していくことを強く希求し、我が福島市域においては、いかなる国のいかなる核兵器も配備貯蔵することはもとより、飛来・通過することを拒み、核兵器の廃絶・軍備縮小と世界の恒久平和の実現を願う「核兵器廃絶平和都市」であることをここに宣言する。



【作詞部門】募集要項

「わたしのふるさと」をテーマに

うた し 歌の詞をつくろう



う そだ す
あなたが生まれ育ったまち、あなたが住んでいるまち、
とも たの ば みぢか す
あなたとお友だちが楽しんだ場、あなたの身近なひとたちと過ごした
なつ ば おも し
懐かしい場を、ふるさとへの思いを、詞にしてください。
し うた はな うた せかい
すてきな詞は、歌となって花ひらき、歌のつばさでふるさとから世界へはばたきます。



れい やま
例： わたしのまちには、こんな山がある
かわ
わたしのまちには、こんな川がある
はな
わたしのまちには、こんな花がさいている
とり
わたしのまちには、こんな鳥がとんでいる
まつ
わたしのまちには、たのしいお祭りがある
しぜん
わたしのまちには、うつくしい自然がある・・・



ふくしまけん けんぽくちいき しょう・ちゅうがくせい し ま
福島県県北地域の小・中学生のみなさんのすてきな詞をお待ちしています



し
【詞のつくりかた】

し し
詞のつくりかた、詞のかたちは、つぎのア.～ウ.のようになしてください。

ぎょう じ
ア. 1行は、15字ぐらいにしてください

ばん ぎょう なが ぎょう し
イ. 1番は、4行ぐらい・長くても5行ぐらいの詞がよいです

うた なが ぜんたい ばん ばん
ウ. 歌の長さは、全体で1番～3番ぐらいがよいですが、
なが ばん
長くなっても4番までとします



さんこうさくひん

【参考作品】

♪『ときよめぐれ (までのロンド)』

さくし さつきよく
作詞／伊武トーマ (いぶとーま) 作曲／山根明季子 (やまねあきこ)

(1番)

前を向いて 歩いてゆこう
道に花が 咲いている
にぎりしめた こぶしをひらき
めぐれ めぐれ ときよめぐれ
てのひらの花よ 咲け ふるさとの道に

(2番)

顔を上げて 立ち止まってみよう
空に鳥が 飛んでいる
このかなしみを ときはなち
めぐれ めぐれ ときよめぐれ
未来の子よ はばたけ ほんとうの空に

(3番)

手に手をとって 輪になっておどろう
あなたがいる わたしがいる
いのちのリズム きざんで
めぐれ めぐれ ときよめぐれ
名もなき花よ ひらけ までの里に



おうぼさくひん さくひん よてい
応募作品のなかより10作品(予定)をえらび、
さつきよくぶもん きよく ぼしゅう
作曲部門で曲を募集します。

きよく ゆめ おんがくどう
できあがった曲は「ふくしん夢の音楽堂」で
えんそう よてい
演奏される予定です。

といあわ おうぼ かき ま
お問合せ・応募は下記のウェブサイトよりお待ちしております

第1回 作詞・作曲 人材育成プロジェクト 2025
作詞部門 募集期間 2025年6月6日(金)～8月8日(金)
<https://www.geijyutsubunka-fukushima.com>



お問合せ先Eメール: toiawase@geijyutsubunka-fukushima.com